

農業技能実習評価試験（上級）学科試験は、過去に出題された試験問題の中から、その一部を公開しています。問題は、正誤式と四択式があります。

(1) ウィンドウレス<sup>けいしゃ</sup>鶏舎<sup>ばあい</sup>の場合、避難<sup>ひなんけいろ</sup>経路<sup>かくにん</sup>を確認しておきます。

かいとうらん  
解答欄

(2) 集卵<sup>しゅうらんご</sup>後は、低温<sup>ていおん</sup>、乾燥<sup>かんそう</sup>した場所<sup>ばしょ</sup>は避けて<sup>さ</sup>卵<sup>たまご</sup>を保管<sup>ほかん</sup>します。

かいとうらん  
解答欄

(3) 白色<sup>はくしょく</sup>レグホン種<sup>しゅ</sup>が卵<sup>たまご</sup>を産み始める<sup>う</sup>のは、  
ふ化<sup>かご</sup>後<sup>げつ</sup>4～5か月くらいです。

かいとうらん  
解答欄

(4) 鶏<sup>にわとり</sup>の飼料<sup>しりょう</sup>は、青菜<sup>あおな</sup>、牧草<sup>ぼくそう</sup>を多く含<sup>おお</sup>んだ消化<sup>ふく</sup>のよい粗飼料<sup>しょうか</sup>が  
中心<sup>ちゅうしん</sup>となります。

かいとうらん  
解答欄

(5) 種卵<sup>しゅらん</sup>は、人工<sup>じんこう</sup>ふ化器<sup>かき</sup>で21日間<sup>にちかん</sup>くらいでふ化<sup>か</sup>します。

かいとうらん  
解答欄

(6) ひらが ほうしき ちよくせつでんせん びょうき  
平飼い方式は、ふんから直接伝染する病気になることが  
すく  
少ないです。

かいとうらん  
解答欄

(7) む が にわとり えいようぶそく  
群れ飼いされている鶏が栄養不足により、

かいとうらん  
解答欄

にわとり どうし お  
鶏同士つつきあいを起こすことをクラッチといいます。

(8) だい き はついく おな にわとり おな くかく しゅうよう  
大すう期は、発育の同じ鶏を同じ区画に収容することが

かいとうらん  
解答欄

たいせつ  
大切です。

(9) しょせい おお ないぶ み えら  
初生びなは、へそが大きく内部がよく見えるものを選びます。

かいとうらん  
解答欄

(10) さんらんりつ かご にちれい たか  
産卵率は、ふ化後200日齢で90%くらいまで高まり、

かいとうらん  
解答欄

むか  
ピークを迎えます。

(11) <sup>はくしょく</sup>白色<sup>しゅ とくせい</sup>レグホン種<sup>もつと てきせつ</sup>の特性<sup>えら</sup>について、最も適切なものを選んでください。

① <sup>はね のうせきかつしよく</sup>羽は濃赤褐色です。

② <sup>きいろ</sup>くちばし、あしは黄色です。

③ <sup>じ あかいろ</sup>耳だは赤色です。

④ <sup>らんかく せきかつしよく</sup>卵殻は赤褐色です。

かいとうらん  
解答欄

(12) <sup>にわとり さんらん あと たまご だ</sup>鶏が産卵した後、卵を抱いてひなをかえす特徴<sup>とくちょう</sup>について、  
<sup>もつと てきせつ</sup>最も適切なものを選んでください。

① <sup>いく</sup>育すう

② クラッチ

③ <sup>しゅうそうせい</sup>就巢性

④ ペックオーダー

かいとうらん  
解答欄

(13) <sup>しよせい</sup>初生びなの雌雄鑑別<sup>しゅう かんべつほうほう</sup>方法として、<sup>もつと てきせつ</sup>最も適切なものを選んでください。

① <sup>らん おんど</sup>ふ卵温度

② くちばし

③ <sup>がんきゅう</sup>眼球

④ <sup>うもう</sup>羽毛

かいとうらん  
解答欄

(14) 鶏ふんの処理方法として、最も不適切なものを選んでください。

- ① 堆肥化
- ② 乾燥
- ③ そのまま肥料利用
- ④ 野積み

かいとうらん  
解答欄

(15) 日本の鶏の法定伝染病として、最も適切なものを選んでください。

- ① 鶏痘
- ② 伝染性気管支炎
- ③ ニューカッスル病
- ④ コクシジウム症

かいとうらん  
解答欄

(16) ふ卵中に検卵する目的として、最も適切なものを選んでください。

- ① ふ卵期間を短縮し、生産効率を上げます。
- ② 病原菌の増殖を防ぎ、病気の発生を抑えます。
- ③ 無精卵や発育中止卵を発見し、取り除くためです。
- ④ 発育中の胚が卵殻膜にゆ着するのを防ぐためです。

かいとうらん  
解答欄

(17) <sup>こうびょうげんせいとり</sup> 高病原性 <sup>かん</sup> 鳥 <sup>せつめい</sup> インフルエンザに関する説明として、  
<sup>もつと</sup> 最も <sup>てきせつ</sup> 適切なものを <sup>えら</sup> 選んでください。

① <sup>びょうげんたい</sup> 病原体 <sup>さいきん</sup> は細菌です。

② <sup>せつしゅ</sup> ワクチンを接種して、<sup>はつせい</sup> 発生 <sup>ふせ</sup> を防ぎます。

③ <sup>びょうげんたい</sup> 病原体 <sup>しんにゆう</sup> の侵入 <sup>ふせ</sup> を防ぐため、<sup>やちよう</sup> 野鳥 <sup>しんにゆう</sup> が侵入 <sup>すきま</sup> できる隙間を  
<sup>ゆうこう</sup> ふさぐことが有効です。

④ <sup>かいがい</sup> 海外 <sup>へんせいふう</sup> から偏西風 <sup>にほん</sup> によって、日本 <sup>でんぱ</sup> に伝播 <sup>おお</sup> されることが多いです。

かいとうらん 解答欄